

図書館だより

長浜北星高等学校
(全日制・定時制)
長浜北星高等養護学校
図書館発行



NO.1 2021 4月号



新年度が始まりました。皆、新たな気持ちで学校生活を送っていると思います。図書館は皆さんの利用をお待ちしています。休み時間や放課後・・・いつでも来て下さいね。

「52ヘルツのクジラたち」
町田そのこ 中央公論社

自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる。

2021年度本屋大賞受賞作。



「クララとお日さま」 カズオ・イシグロ 著 土屋政雄 訳 早川書房

私たち人間が忘れてしまいそうになる純粹で自己犠牲的な心を持つ？AIロボット、クララ。ロボットに心はあるのか、人間らしさって何なのか、深く静かに考えさせられる一冊です。誰にでもわかるやさしい口調で丁寧で繊細に書かれた文章に著者独特のどこにでもあるような、それでいてどこにもないような不思議な世界観が伝わってきます。



* 今年度の図書館担当者からのおすすめ本です *



「自転しながら公転する」
山本文緒 新潮社

東京で働いていた32歳の都は、親の看病のために実家に戻り、近所のモールで働き始めるが…。結婚、仕事、親の介護、ぐるぐる思い惑いながら幸せを求める姿を描く。

三浦先生(教科・国語)より

「スマホ脳」

アンデシュ・ハンセン 著
久山葉子 訳 新潮新書

なぜネット依存症がおこるのか。子どもに無制限にスマホを使わせるとどうなるのか。この本を読むとわかります。将来、父となり母となる皆さん、人類の将来のために是非読んで下さい。



司書・藤田より

「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」

ブレディみかこ 著 新潮社

題名がちょっと不思議？でも読んで納得。現代のイギリス社会や学校生活を体験に基づいてリアルに真面目に教えてくれます。読むと元気をもらいます。



春の本



春はあけぼの。やうやうしろくなりゆく山ぎは、少しあかりて・・・枕草子の冒頭です。
今回は春をテーマに本を紹介してみたいと思います。

「蜜蜂と遠雷」 恩田陸 幻冬舎



映画を見た人が多いかも。中身は個性的な面々のピアノコンクールでの熱い闘いが繰り広げられます。読みながらピアノの音と自然の鼓動を感じます。



「恋するいきもの図鑑」 今泉忠明 監修 カンゼン

春になるといきものすべてが心ウキウキ。様々な生き物の生態を知るきっかけにもなります。



「世界を彩る色と文化 めぐって旅する新しいデザインの本」 桜井輝子 ク リエイティブ

春は色があふれています。こんな本で、様々な色にふれてみませんか。

初めての人も、見たことあるという人も・・・
もう1度確認して、便利な機能を使ってみよう！

本校図書館の蔵書がスマホ・タブレットから検索 出来ます！ (詳しくは紙の「図書館だより」に)

正式名称:ライブファインダークラウド「おうちライブラリー」

この検索システムは、北星高校図書館管理システム「LibMax」を開発されたソフテック社が2021年6月まで無償提供して下さるサービスです。
(4.1現在)



- *スマホ・PC・タブレットからいつでも本の検索が出来ます。
- *本の内容や表紙を見ることが出来ます。
- *図書館の新作図書などが見ることが出来ます。
- *予約することもできますが、予約通知は担任の先生から知らせます。

注意

このサイトは北星高校の生徒のもので、他の人にURLやパスワードを教えたり、リンクをはったりしないで下さい。